

## この一年間の御報告

在京白聖会 会長 戸田 純 (S48卒)

今年の在京白聖会総会の御案内が皆様に届いていると思います。

この一年は、通常の行事やクラブ活動の他に、50年記念誌の発刊、未来委員会開催（若い世代との意見交流会）、有志による次回総会の準備と、ちょっといつもと違う出来事がありましたので、ここで報告させていただきます。

まず、50年記念誌の発刊が無事終了し、会費納入の会員の皆様には既に記念誌が届いていると思います。3年をかけて製作しましたので、なかなか良い記念誌が出来上がったと思います。製作にかかわった皆様本当にお疲れ様でした。

しかしながら、これまでの剰余金のほとんどを記念誌製作につぎ込んでしまったため、会計上の余力があまり無くなってしまいました。常任幹事会で相談した結果、皆様に協賛金のお願いをすることになりましたことを報告させていただきます。（総会の御案内に同封）

次に、未来委員会という形で、在京白聖会の今後のあり方について若い世代との話し合いの場を設けました。昨年度幹事のS61年卒を中心とした若手世代と、役員世代との間で、在京白聖会の存在目的、運営方法、今後のあるべき姿等の意見交換を行いました。年代、個人によって、在京白聖会に対する思いも、それぞれかなりの違いがあることを再認識致しました。これからは、これまでのしきたりに若い世代の意見もとり入れて、風通しの良い在京白聖会となるよう努めてまいります。

また、例年であれば50才の代が総会の幹事を務めるのですが、今年は事情があり50年代卒の有志と役員有志で準備を進めています。発送作業は、年代を越えて集まった20数名の有志で和気あいあいと行いました。来年はまた次の代が既に準備を始めています。これもひとつの時代の流れかなと思い自然体で受け止めています。今年幹事をできなかった代の皆様も、これまで同様総会に出席していただき、一緒に校歌を歌えることを楽しみにしています。